

◇くるめつじマーチ4月21日(土)、22日(日)開催

# 前日までの申し込みで割引に

## 当日も参加を受け付け

九州最大級のウォーキングイベント「くるめつじマーチ」が4月21日(土)と22日(日)の2日間にわたって開催されます。メイン会場の中央公園では、ステージイベントをはじめ、焼きとり



5kmコースは散歩気分分で気軽に参加できます。(昨年の様子)

などの久留米自慢のグルメ、特産品の販売や無料の足湯コーナーもあります。街なかや筑後路を巡る5・10・20・40kmの4コースを設定。1日目は、「みどりの里・耳納風景街道を巡る」をテーマに、草野町、善導寺町、森林つつじ公園、石橋文化センター、百年公園のつつじまつり会場などを歩きます。2日目は、「筑後川と筑前・筑後歴史街道を巡る」をテーマに、秋月街道、大刀洗町、宮ノ陣町、北野町、水天宮、寺町などを歩きます。

■料金1500円(当日は2000円)、小学生以下高校生700円(当日は1000円)。2日間でも1日だけでも同額

■申込締切4月20日(金)。申込書は本庁舎の行政資料コーナー、各総合支所産業振興課、各市民センターなどに準備。当日は会場です。

け付け  
百年公園北側の河川敷駐車場は、工事のため使用できません。

## 家族でキッズウォーク

小学生以下の子どもと一緒に歩くキッズウォークを今年も開催します。中央公園を出発し、百年公園やぐるめウス、鳥類センターなどを巡る、家族で楽しく歩ける約3kmのコース。ベビーカーでも参加できます。

■日時4月22日(日)9時30分  
■出発。受け付けは8時〜9時15分  
■対象未就学児と保護者  
■定員300人・当日先着順  
■料金子ども1人500円、同伴の保護者は無料

◎久留米つつじマーチ実行委員会事務局(久留米観光コンベンション内、☎0942・311・1777、FAX0942・311・3210)



# 春を満喫 ツツジのイベント盛りだくさん

久留米つつじの販売やツツジに関する講演会など、開花の時期に合わせて、市内でさまざまなイベントを開催します。

## 久留米つつじまつり

■日時4月5日(木)から5月5日(木)までの9時〜17時 ■会場久留米百年公園 ■内容久留米つつじ約20万本、観葉植物や盆栽など約

10万本を展示・販売。期間中、ツツジやランの植え替え講習会や盆栽のワークショップなどあり

◎久留米つつじまつり実行委員会事務局(☎FAX 0942・33・8316)

## 全国つつじサミット2018 in くるめ

■日時4月21日(土)14時〜16時30分 ■会場久留米リサーチセンタービル展示場 ■内容講演「久留米つつじの歴史と発展について」、

百年公園のツツジやつつじまつり会場を案内しながら巡るツアーなど ■申し込み不要。参加者には、先着200人に久留米つつじの苗木をプレゼント

◎全国つつじサミット2018 in くるめ実行委員会事務局(みどりの里づくり推進課内、☎0942・30・9165、FAX 0942・30・9717)



さまざまな品種のツツジを販売

# くるめ学生通信

33

## 結婚の希望をかなえるまち

市内の大学生が、久留米市の仕事などを取材し、学生目線で発信するシリーズです。

◎広報課(☎0942・30・9119、FAX 0942・30・9702)



市の婚活支援について話を聞く、久留米大学の石めぐみさん(右)

市役所が、婚活をサポートしているって聞きました。行政がそこまでのことはなぜだろう。どんなことをしているのかな。担当の子ども政策課の職員さんに話を聞きました。

## なぜ市役所がそこまでするんですか

日本では、1人の女性が生む子どもの数が年々減っています。このままいくと、まちを維持していくのに必要な人口が保てなくなることも考えられます。

少子化の原因はいくつかありますが、最近のアンケート調査などで、結婚しなくても出会いがないという人が意外に多いことが分かりました。その結果として、未婚や晩婚の人がだんだん増えていることが、要因の一つになっています。そこで、結婚を希望する人に出会いの場を提供するなど、婚活を支援していくことにしたんです。

## 具体的にどんなことをしているんですか

平成28年度に、市内の企業や団体と「キラリ・くるめ婚活部」という取り組みを始めました。社員の結婚を応援する企業などが登録。窓口担当者や20歳から49歳までの独身の社員が部員になります。結婚コーディネーターが、情報を提供したり相談に乗ったりします。出会いの

きっかけとなる婚活イベントや企業間の交流会に参加することもできるんです。

## 成果はどうでしたか

現在、72団体が登録し部員数は286人です。これまでパーティーやセミナー、ケーキ作り体験などのイベントを開催しました。11回のイベントに延べ182人が参加。カップルが45組誕生したんですよ。

## 取り組みに課題はありますか

部員は増えているんですが、イベントの参加者がなかなか伸びません。1人では行きづらかったり、毎回参加することに引け目を感じたりする人もいます。もう少し気軽に何度でも参加できる雰囲気づくりが必要だと思います。

## 今後どんなことを目指しますか

結婚して子どもを持ちたい人が、自分が思い描く通りの人生を歩めない現実があります。結婚はもちろん、



取材では、自分のライフプランもつくりました

婚活サポートが、少子化対策の一環だということ、婚活に行政が関わらないといけないほど少子化が深刻な課題であることが分かりました。

取材の中で、初めて自分のライフプランを組み立てました。私が結婚したいと考えている年齢まであと少し。社会人になっても、出会いはたくさんあると思っていました。現実が厳しいことを実感しました。自分の将来を見詰め直す良い機会になりました。